

論文審査の結果の要旨

報告番号	博（医歯薬）甲第62号	氏名	森野 茂行
学位審査委員		主査	永安 武
		副査	相川 忠臣
		副査	河野 茂
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、塩基性線維芽細胞増殖因子(FGF-2)の経気道的投与が、肺気腫により低下した呼吸機能を改善することを証明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では豚豚エラスターゼを用いたイヌ肺気腫モデルを作成し、FGF-2の経気道的投与の効果を動脈血ガス分析、dynamic MRI、全肺容積、平均肺胞径等を用いた評価を行っており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、FGF-2投与群において造影効果の改善、動脈血酸素濃度の上昇、平均肺胞径の縮小などが認められた。このことより FGF-2が気腫肺実質組織において低下した血流と弾性能を改善する可能性が示唆された。</p> <p>以上のように本論文は、肺気腫に対する治療法の確立に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			